

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミD	単位認定	1	藤本明美

【ディプロマポリシーとの関連】

<技能・活動的領域(技能・表現)>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。
6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:親子広場での支援のあり方、ファシリテーターの役割を学び実践する

到達目標:

- ・乳幼児の子育て家庭の現状やニーズを知り、親子で交流する広場の支援のあり方について話し合うことができる。
- ・安心して過ごせる広場の環境づくりに向けて、主体的、意欲的に協力し合って取り組むことができる。
- ・ファシリテーターの役割を理解し、広場で実践することができる。
- ・子ども同士の困りごとを受け止め、対応する力を身につける。

【授業の概要】

- ・乳幼児の子育て家庭が孤立することなく、親子で交流する広場の必要性を理解し、環境づくり・開催の準備を進める。
 - ・親子広場開催を実践しながら、振り返りと考察を行い、各自の課題を見つけながら成長していく。
 - ・広場での支援の役割、姿勢をロールプレイなどを通して学び、実践に活かす。
- なお、状況によって親子広場の開催についてはシラバス通りにできないこともある。

【全体の授業計画・内容】	【事前学習の内容】	【事後学習の内容】
1. オリエンテーション・ゼミ訪問	シラバスを理解しておく	自分の関心のあることをまとめる
2. ゼミ選択・講義開始 アイスブレイクで関係づくり	シラバスを理解しておく	体験を振り返り日常に活かす
3. 親子の広場とは。支援のあり方について	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	資料を読み理解を深める
4. 広場開催のプログラム計画、ファシリテーションを考える	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	体験を振り返り日常に活かす
5. 広場開催に向けて環境づくり	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	広場の広報をする
6. 親子広場の開催①	親子の受け入れの準備をする	レポートをまとめる
7. 開催の振り返り。親子へのかかわりについて。	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	広場の広報をする
8. 親子の広場開催 ②	親子の受け入れの準備をする	レポートをまとめる
9. 開催の振り返り。親子へのかかわりについて。	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	広場の広報をする
10.親子広場の開催③	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	レポートをまとめる
11 開催の振り返り。親子へのかかわりについて。	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	広場の広報をする

12.親子広場の開催④	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	レポートをまとめる
13.開催の振り返り。親子へのかかわりについて。	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	広場の広報をする
14.親子広場の開催⑤	環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)を進める。	レポートをまとめる
15.まとめとこれからの課題	課題に取り組む	学んだことを今後にかす

【学習のあり方】

親子が安心して過ごす環境について関心を持ち、学内での親子広場づくりに向けて意欲的に取り組み、日常(スーパーや乗り物などで)生活でも親子の関心や困りごとを把握できるよう努める。

地域資源情報を発信できるように収集に努める。

親子広場開催に向けて全員でやるべき課題を共有し、主体的に考えを出し合ってすすめる。

【成績評価】

学習の過程や態度、成果を総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

親子広場の環境づくりや話し合い、広場での実践を通して個別的に及び全体にアドバイスを行う。

【テキスト】

随時プリントを配布する

【参考文献】

授業中に指示する

【実務経験の有無】

地域子育て支援や親支援、親子の広場立ち上げの実務経験を活かして進める。